



## 和歌山大学

教育学部学校教育教員養成課程

**竹田眞理子** (たけだ まりこ)

所在地：和歌山県和歌山市栄谷 930

<http://www.wakayama-u.ac.jp/edu.html>

**Profile** — 竹田眞理子  
和歌山大学教育学部教授。  
専門は教育心理学 (教授・  
学習)、知覚心理学、認知心  
理学。主な著書は『視聴覚  
メディアと教育 (改訂)』  
(共著、樹村房)、『眼球運動  
の実験心理学』(分担執筆、  
名古屋大学出版会) など。



和歌山大学は、教育学部、経済学部、システム工学部、観光学部の4学部からなり、大阪府と和歌山県の県境近く、和歌山市郊外の高台にあります。この数年で背後の宅地開発が進み、以前ほどではありませんが、それでもまだまだ自然に恵まれたキャンパスで、和歌山市街地と紀淡海峡を望むことができます。大阪市内から1時間弱の南海本線と和歌山市駅、JR和歌山駅から大学構内まで乗り入れるバスがあるほか、今年(2012年)の春には、南海本線に「和歌山大学前」駅が開業予定で、アクセスがより便利になります。また、大学院生や上級学年の学生の中には車で通学している者もいます。和歌山県下と大阪府南部地域で心理学を専門的に学べる唯一の大学となっており、和歌山県と大阪府の出身の学生が多くを占めていますが、遠方からの学生もいます。ここ数年の専攻学生数は1学年7～10名程度と、こじんまりしています。ときには親子2代にわたっての本学心理学専攻のケースもあります。

### カリキュラム

心理学が専攻できるのは、教育学部の中の学校教育教員養成課程で、文系・理系のいずれの受験者も教育科学コースの中にある心理学を専攻できます。専攻教室が決まるのは1年次後期で、本人の希望に基づいて専攻教室が決定さ

れます(受け入れ可能数がありますが、ほとんどの場合、希望通りとなります)。さらに2年次の終わりに指導教員が決まります。卒業論文などの指導は主としてその指導教員が行いますが、基本的に協同指導体制なので、指導教員以外の各教員によっても丁寧な指導が行われています。学生の研究テーマについては、学生の興味・関心、自主性を尊重し、押しつけることなく、できるだけさまざまなテーマに対応できる工夫をしています。

和歌山大学の心理学専攻では、すぐ役に立つかもしれないけれどすぐ色あせるような、単なるhow toの技能だけではなく、根源的で一生ものとなるような、ものの見方、捉え方、考え方に深く関わるといった力を育てることを狙っています。

心理学専攻生がとる専門の授業としては、1年次用の「心理学入門ゼミナール」(体験的に学べる心理学入門)、2年次用の「人間科学の動向」(心理学論文の読み方と心理学の研究動向)という心理学の教員全員が担当する授業のほか、基礎的な授業として「人間理解の方法(実験法・観察法)」「人間理解の方法(検査法・面接法)」「心理学研究法」「行動科学分析法」「心理統計法」、さらに各教員が専門とする領域を担当する授業などがあります。

教員養成系学部なので、心理学

専攻の場合も、少なくとも小学校か中学校の教員免許(1種)を取得します。小学校、中学校、高等学校、幼稚園、特別支援学校の免許が取得可能なので、複数の免許を取得する学生が多くいます。教員免許のための専門の授業をとるほか、3年次には4週間、教育実習に行きます。複数免許を取得する場合は4年次にも、小または中学校、特別支援学校の教育実習があり、さらに、免許には関係ありませんが、<sup>僻地</sup>僻地教育実習(僻地指定されている学校で現地受け入れ家庭にホームステイをしながら実習するもので、全国的に珍しい)に希望して参加する学生もいます。なお、心理学教室でも、「複式授業研究」という、僻地に多い、複数学年が一つの教室で学ぶ複式授業に関して心理学的に検討する授業を、附属小学校の複式学級とその担任の先生方の協力を得て、教室の教員全員で担当しています。

資格は、教員免許のほか、博物館学芸員、社会教育主事、社会福祉主事が取得可能です。さらに心理学専攻の場合は、認定心理士の資格が負担なく取得できるカリキュラムとなっています。

### 教員紹介

現在、心理学教室の教員は、音楽心理学・教育評価・行動計量学が専門の<sup>すがせんさく</sup>菅千索教授、認知心理学(言語・思考・記憶)・学習指導と<sup>よねざわよし</sup>発達支援の心理学が専門の米澤好

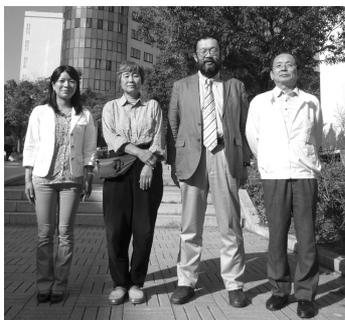


写真1 左から、則定百合子准教授、筆者、米澤好史教授、菅千索教授

史教授、臨床心理学・青年心理学が専門の則定百合子准教授、教育心理学・知覚心理学・認知心理学が専門の竹田真理子の4名です。和歌山県が大学の少ない県ということもあり、教員に要請される社会的な活動も多く、各教員とも大学以外の場の仕事もこなしています。なお、心理学教室のほか、特別支援教育学教室には障害児心理を専門とする教員2名（江田裕介教授、武田鉄郎教授）がいます。大学のホームページには各教員のメールアドレスが公開されていますので、コンタクトをとることもできます。

### 卒業生の進路

心理学専攻生の就職先としては、教員（和歌山大学教育学部は全国トップクラスの教員就職率）のほか、公務員、民間企業（銀行、食品製造業など）、社会福祉施設などへの就職、大学院進学となっています。大学教員、児童相談所心理判定員、法務教官、カウンセラー、社会福祉施設の指導員・心理職など、心理学と直接関わる仕事に就いている者も多くいます。

### 学生生活

学生生活の面では、和歌山大学はボランティア活動が盛んで、昨

年の東日本大震災や紀伊半島の水害のときには、大学もバスを仕立てて、たくさんの学生がボランティアとして参加しましたが、特に教育学部では災害だけでなく、教育関係のボランティア活動もポピュラーです。心理学専攻学生の場合も、スクールボランティア（学校からの要請に応じて小中学校などで支援活動を行う）、不登校児の支援などに携わり、貴重な体験をしていることも多いようです。

他大学と同様、スポーツ、音楽などのクラブ・同好会活動に参加している学生もたくさんいます。なかでも合気道は古い歴史を誇っており、心理学専攻の男女学生の中にも有段者が何人かいます。また、家庭教師などのアルバイトをしている学生も多く、アルバイトから学ぶこともあります。

### 大学院

大学院は修士課程があり、学校教育専修の心理学分野では、教育心理学、発達心理学、教育臨床心理学の3領域にわたり学習します。ここ数年は、1学年数名程度が心理学分野を専攻しています。和歌山大学出身者だけでなく、他大学の出身者、和歌山県教育委員会から派遣されてきた現職教員も多く、中には学部で心理学を専攻していなかった者もいます。そのような心理学を専攻していなかった院生のためには学部レベルの心理学も補習として学べる工夫がされています。

学校教育専修の他に、夜間・休日などに開講される発達支援教育学専修（心理学、特別支援教育学等の複合）もあり、社会人（多くは教員）などが学んでいます。中には、仕事のあと、遠方からマイカーを走らせて大学院の授業に駆け

つける院生もいます。どちらの専修においても、学校心理士・学校心理士補と臨床発達心理士の受験資格に対応しており、修了者の中には、学校心理士などの資格を活かして心理の専門職に就いている者も多くいます。授業は和歌山大学の専任教員が担当するものに加えて、他大学の先生による集中講義もとることができます。大学院では、現職教員をはじめとする社会人と若い学生が、それぞれの良さを発揮してコラボしています。

### 和歌山大学心理学教室の特徴

和歌山大学の心理学専攻は学生数が少ないこともあり、アットホームな雰囲気で、きめ細かい指導がされることは大きな特徴でしょう。学生と教員のふれあいが豊かなだけでなく、学生同士も親しく、心理学専攻の学部生のたまり場である通称ゼミ室や院生室は、学びの場、情報交換の場、憩いの場となっており、若いとはいえない大学院生も含め、老（そこまではいえない？）若男女が和気あいあい、共に楽しみ、共に教え合いながら学んでいます。

和歌山県は海の幸、山の幸、川の幸に恵まれ、日本三大味（味噌、醤油、鰯節）の発祥の地であり、おいしいものと温泉に事欠きません。そんな中、学生たちも適度に人生をエンジョイし、ひとを思い、ギスギスすることなく、おおらかに育っているような気がします。



写真2 心理学専攻の授業風景